

縮んだ姉

と
生えてきた妹

成年向
同人誌
adult only

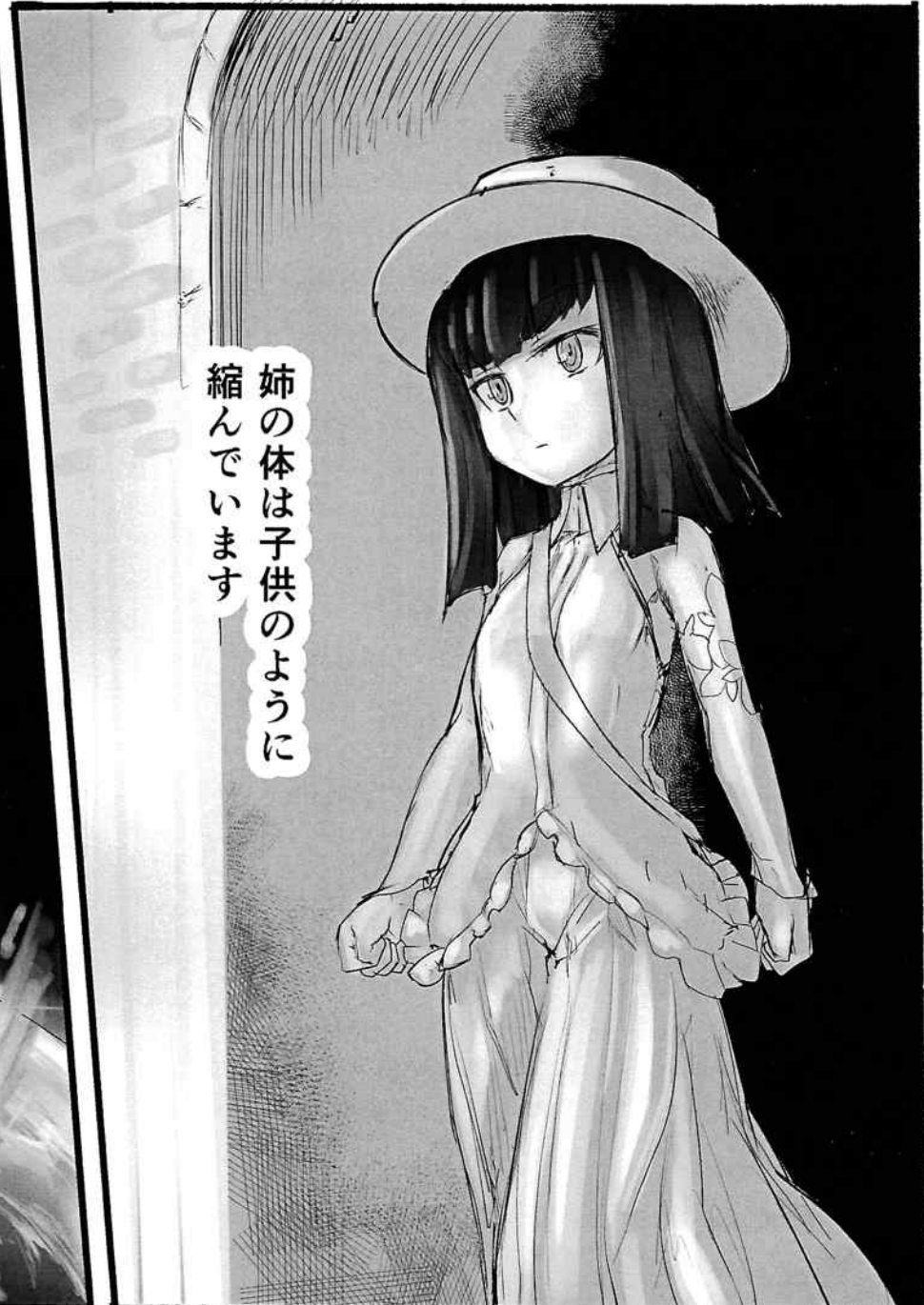


おっかない
パクロミ母さんを
ぶっ倒した姉妹でしたが

未だ日常に戻る事は
できませんでした



姉の体は子供のよう
に縮んでいます



大気圏で全て燃え尽きた
かに思えた生命戦維

彼女等の中にその
生き残りがいました

絶対服従に縛られた
彼等は新たな
繁殖法を模索します



姉が縮み始める
半年ほど前

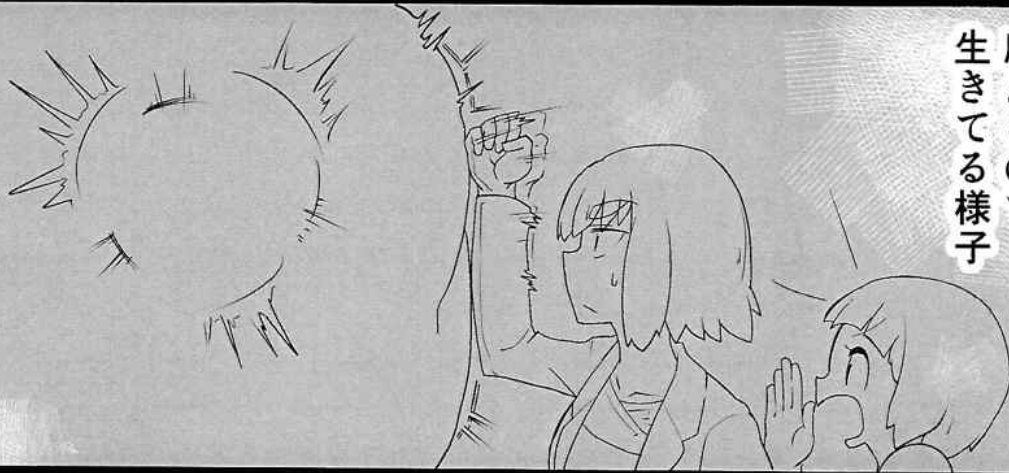


妹が生命繊維の
繭に包まれます



呼びかけには
応えるので
生きてる様子

一時様子を見る
事にしましたが



時を同じくして
姉は

脱皮した妹は
何故か失踪して
しまいます

歴戦の従者も
これには青い顔



姉のサイズが完全に
子供のそれになった頃

妹は帰ってきました

他の誰にも会う事なく
姉だけの元に
帰ってきました

再開を喜んだ
姉でしたが…

オオオオ

オオオオ





結婚しよう!

無理だバカ!

妹の体は一部
様変わりして
いました

ホコ

服ぐらい着ろバカ!

最近
は頭の方も
だいぶ違っ
てきて
いるよう
です

元々妹とは深く融合
していた戦維達
でしたが



さらにヒト側に迎へ
した変化を選びま

戦維吸収で得ていた
雄の情報を元にヒトの
それに似た子実体ちんこを形成

繁殖への自主性も
徐々にイジりました



紛れもなく地球を
救った英雄のこのザマ

少しは落ちつけ
みつともなハ



不憫に思った姉は
自らの私有地に妹を
隠しました

彼女等の友人達にも
内緒です

四六時中襲ってくる性衝動に
耐えながら誰にも相談できず
放浪していた妹が

最後に頼ってきたのが姉である
自分だったので



そのみに限って
言えば嫌な気分では
ありません

それだけの
はずでした



抱いたのは
そうだった
保護欲



自慰では治まらない
性衝動

もう幾度もこうして
処理してやっています



「赤子を寝かし
つける様なものだ」と

無理やり言い聞かせて
いたのは最初の事



仕方ない風を
装いつつも

自分が徐々に積極性を
持ち始めている事を
感じていました




家族愛の類で誤魔化すには
無理が出てきていました






自分の体で妹が
悦んでくれるのが
うれじい



妹の精を浴びせられ

充足感が体を
駆け巡る



乱暴な位に
求められるのが
心地よい



ここに至って姉は

自らの体が縮んだ
根因について

立てていた
仮説に確信を
持ちます



妹をさいなむ繁殖本能は
無差別なものではなく



自分は妹の子供を
孕む為に

その為に体を
作り変えられて
いるのだと



全て自分に
向けられたものだ



仮説の時点で
対策を講じる
べきでした



それは彼女らの戦いを
全部台無しにするのだから



無自覚なのか
それとも故意に
目を背けてきたのか



最初から生命戦維に
操られていたのか

彼女自身そう
自問する事も
ありましたが

最早それすら
やめました

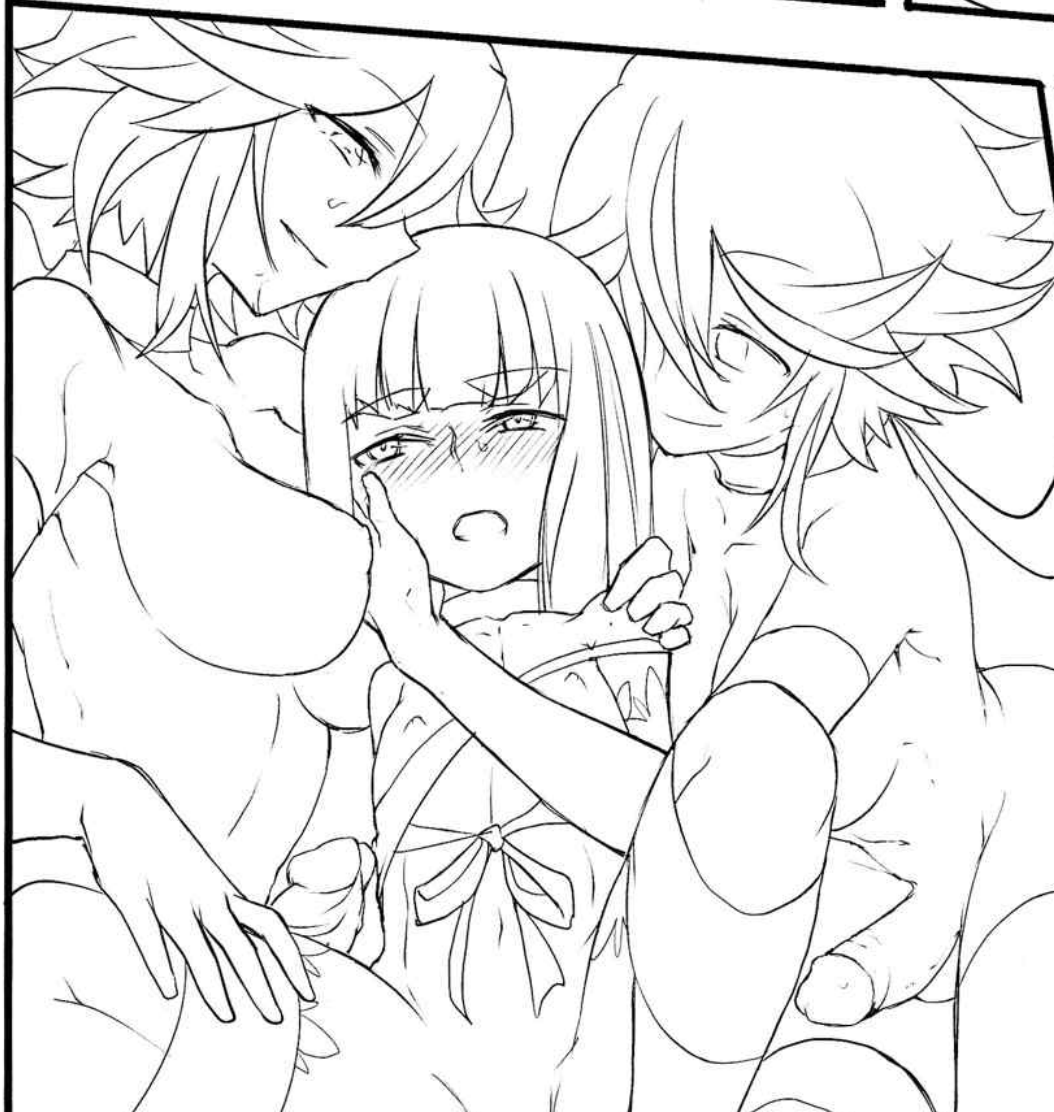
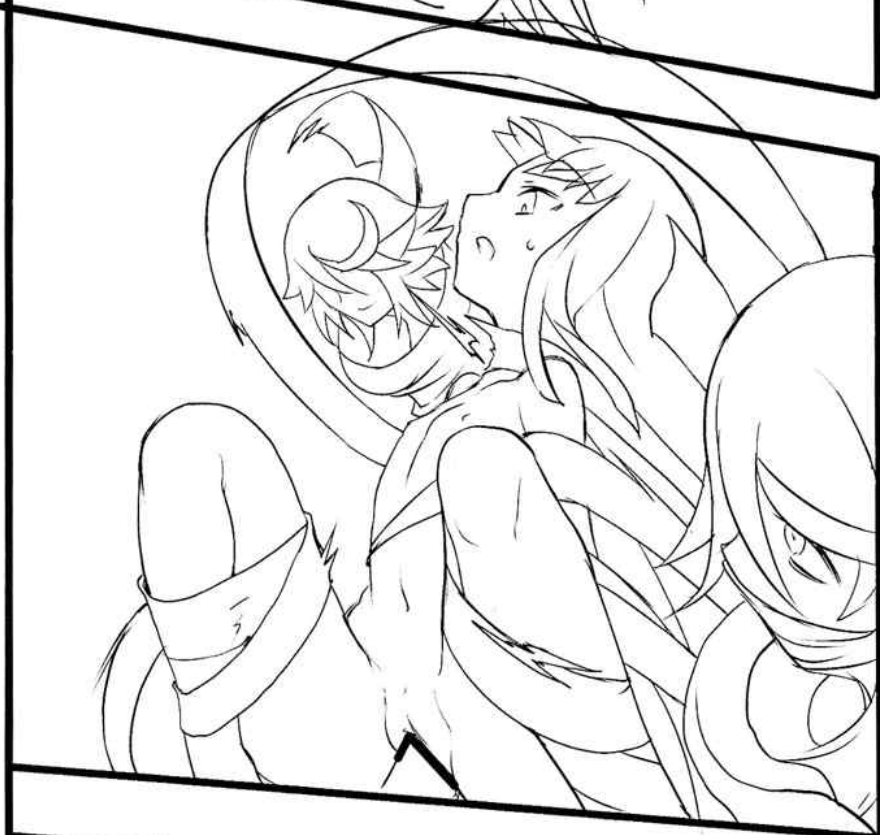
今となつては
そんな事は
どうでもいい

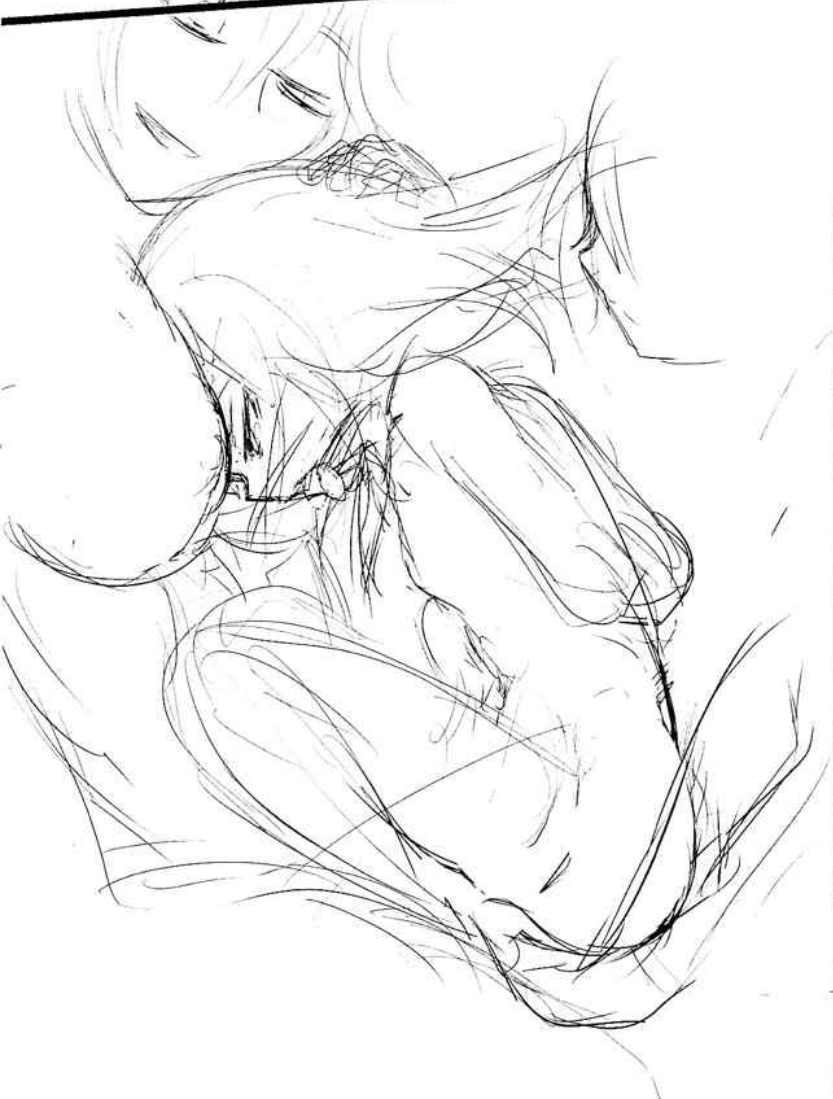
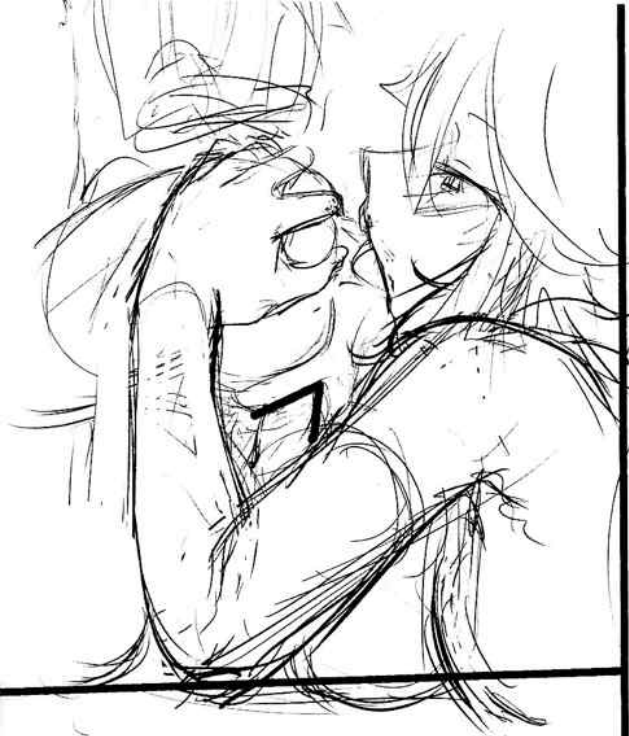
生命戦維による
まやかしだろうと
関係ない

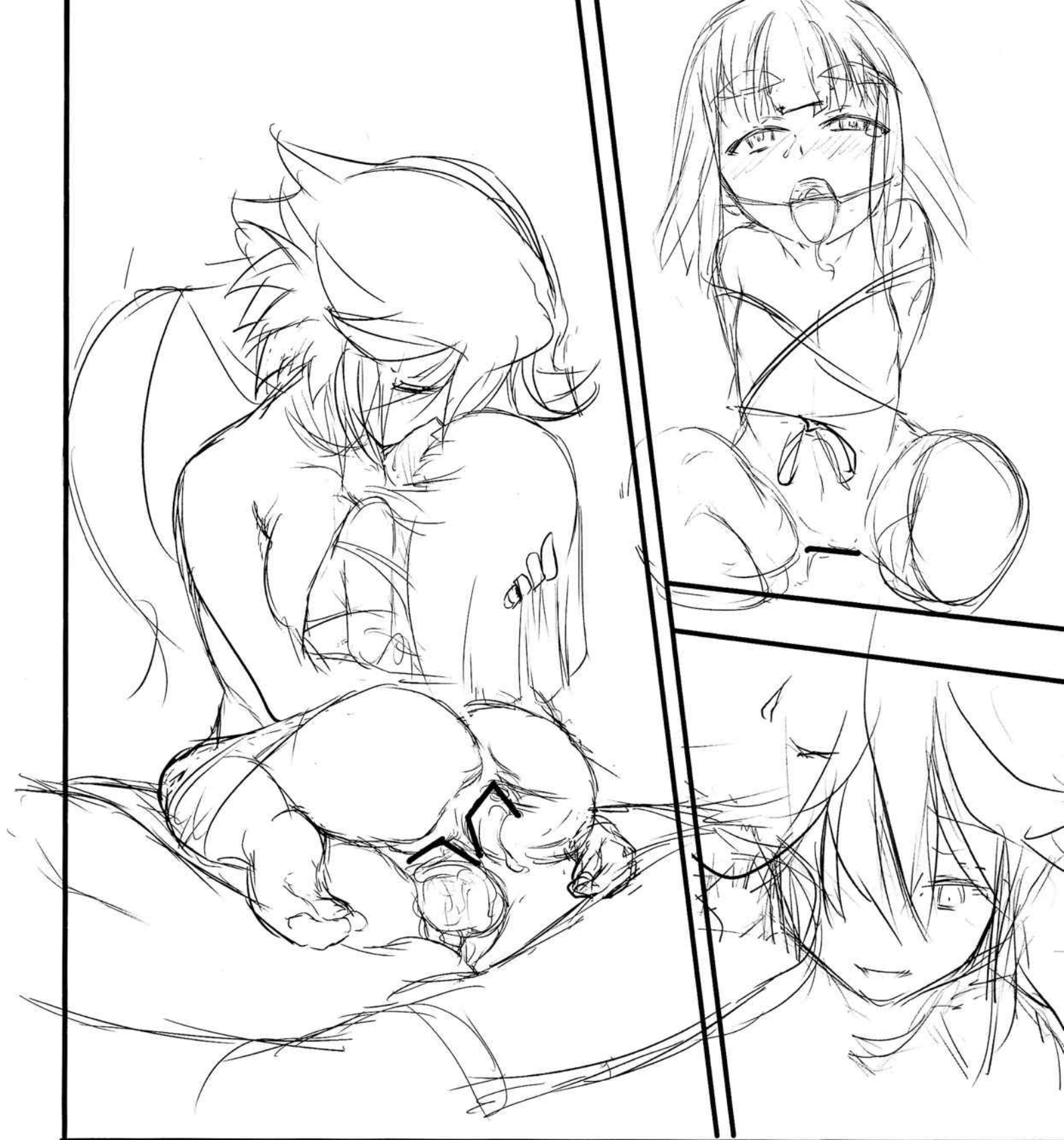
目の前の相手を
満たしてやりたい

求められる事は
全て与えよう

そう思う事に少しの不安も抱きませんでした









拘束したまま
何時間したんだ...

全身が痛い...

べつに
縛らなくても

んー

どこにも行ったり
しないよ

マコー...?

と...だよ...

おいてくたよ...

とつくに日常を
捨てたものだと
思っていた妹

まずは宇宙か

太刀バサミを
見付けてミ

ちんこ
アレを
ちゃん切れば
何とか...

どうやらそうでも
ないかも知れないと
感じ始め



すこし冷静に
なったようです

あとがき
お手にとつて頂き
ありがとうございます
すみませんでした
次は自分に勝てる気がします
強くなりたい
申し訳ありませんでした

奥付
発行 光速ビッチネットワーク
発行人 たまごめし
発行日 2014/08/17
メール kousoku_881@yahoo.co.jp

ピクシブID 2332945

吐きそう